

京都市立七条小学校 学校沿革史＜概要＞

明治 5 年	「京都府葛野郡西七条小学校」として、山城国葛野郡西七条村に校舎を新築して創設。 教員（男）3名 在籍児童数（男子110名、女子88名、計198名） <昭和になり、百周年を迎えるとした時、文部省の記録で分った。 それまでは、明治8年が創立と思われていた。>
明治 22 年 4月	「七条村立七条小学校」となる。
明治 31 年 10月	「葛野郡七条尋常小学校」と「葛野郡唐橋尋常小学校」を合併して、「七条村立尋常小学校」となる。 今の七条石井町61に新校舎ができる、開校する。
明治 34 年 10月 1日	創立記念日として記念式典が行われ、昼から運動会が行われた。
大正 7 年 4月	七条村が京都市に編入され下京区になり、「京都市立七条尋常小学校」となる。
大正 13 年 5月	しいのみ（育成）学級が設置される。 昭和20年3月までで、昭和34年5月より再開される。
昭和 8 年 11月 4日	「京都市立七条第二小学校」（現・唐橋小学校）を創立。 JRより南の児童が移っていった。
昭和 12 年 1月 8 日	「京都市立七条第三小学校」を創立。 七条通りより北の児童が移っていった。「京都市立七条第三小学校」ができる前の12月は、2,144名の児童であった。
昭和 16 年 4月 1日	「京都市立七条国民学校」と改称。
昭和 22 年 4月 1日	「京都市立七条小学校」と改称。（在籍児童数1,880名 39学級） 5月に育友会ができる。
昭和 31 年	この年の在籍児童数は、2,071名 42学級で最多。
昭和 33 年 4月	「西大路分校」ができる。 1～3年の256名（6学級）の児童が移っていった。
昭和 35 年 3月 13 日	保健体育指導研究の功績により、文部省表彰を受ける。
昭和 41 年 7月	プール完成。（7月29日 プール開き） 創立90周年記念事業を行う。西通用門完成。
昭和 42 年 4月 1日	「京都市立西大路小学校」ができる。
昭和 47 年 10月 1日	創立100周年記念式典挙行。校歌制定。 南校舎建設に伴う発掘調査が、京都市埋蔵文化研究所により行われる。その結果、「平安京右京八条二坊」遺跡と名付けられる。遺跡からは、平安時代中期の建物跡や池の跡、多数の木簡、土器等が見つかる。
昭和 59 年 1月 28 日 2月 10 日	竣工式。 新校舎完成を祝う会
昭和 60 年	給食室改築に伴う発掘調査が行われる。（2次調査）遺跡からは、条坊及び宅地割に関する遺構が見つかる。また、木簡28、土器、木で作った容器

	などの遺物が出土。
平成 5年	プールの全面改修に伴って、発掘調査（3次調査）が行われる。この結果、平安時代初めの庶民の家（南北に長い建物と東西に長い建物1軒ずつ）が発掘され、平安京研究史上「画期的な発見」となる。
平成 6年 7月19日 11月20日	待望の新プールが完成。プール開きを行う。 七条校の校庭のクスノキが「名木100選」に選ばれる。
平成 9年	京都市で初めての病弱育成学級新設。車椅子用の通路を設置。
平成14年	創立130周年（在籍児童数321名 14学級） 記念講演会 「熱き感動を求めて」 伏見工業高校ラグビー部総監督 山口良治氏 「憩いのコーナー」に防火水槽設置。せせらぎ、ビオトープ、うさぎ小屋、水鳥小屋を整備。
平成15年	大文字駅伝出場 6位入賞
平成17年	七条第三学童保育所「七条学童クラブ分室」が北校舎に開設される。 京都市教育委員会「みやこ学校創生事業」研究指定校となる。
平成20年	学校運営協議会を設置。
平成23年	校旗の寄贈を受ける。
平成24年	創立140周年式典を行う。（在校児童数430名 16学級） 大文字駅伝出場 8区区間賞
平成27年10月25日	京都府内小・中・高校創造性コンクールで、「京都市教育長賞」を受賞。
平成27年12月 4日	第48回全国小学校理科研究大会京都大会 会場校 研究発表会を実施。
平成28年 5月10日	京都府から『愛鳥モデル校』として3年間指定される。
平成28年11月 3日	京都府内小・中・高校創造性コンクールで、「京都新聞社賞」を受賞。
平成29年 1月20日	京都理科研究会研究協議会と本校研究発表会を共同開催する。